

第15回淀川河川公園 凧あげ大会 2/6(日)



大会凧は写真の2種類の他、抽選配布の和凧になります



風が弱くて昨年は上がらなかった淀川大凧。さて今年は！

みんなで上げる凧上げは最高！大会凧、手作り教室で作った凧をみんなで上げましょう。今年の大会凧は3種類、合計300枚を10時と13時に配布します(先着順)。また日本の凧の会大阪支部のみなさんが凧あげの腕を見定める「凧あげコンテスト」も実施します。持参の凧での参加も大歓迎です。もちろん20畳敷きの淀川大凧や連凧など各種変わり凧も続々上昇！太間地区(京阪寝屋川市駅からバス太間公園下車徒歩10分)で朝10時から。小雨決行



凧の手作り教室



鵜殿のヨシ原焼き 2/20(日) 荒天時は 予定 3/13(日) 予定

冬の淀川の風物詩の一つが「鵜殿のヨシ原焼き」です。ヨシ原の保全、病害虫や雑草の駆除、火災防止を目的に、ヨシを事前に刈り倒しておくなど、灰の飛散防止に配慮しながら、毎年地元の皆さんの手で行われています。当日は点火前から1400人(昨年実績)を越す人々が堤防上から見守ります。問い合わせ／高槻市緑政課(072)674-7111

よしぶえはここにあります

●海老江、長柄河津、赤川、太子橋、外島、八雲、西中島、豊里、佐太西、仁和寺野草、太間、枚方、背割堤、一津屋野草、鳥飼西、鳥飼下、鳥飼上、三島江、大塚、島本、大山崎地区の公園管理所
●守口サービスセンター(守口市外島町TEL.06-6994-0006)
●太間サービスセンター(寝屋川市太間町TEL.072-838-0888)
●鳥飼サービスセンター(摂津市鳥飼下TEL.072-654-9800)
●庭窪レストセンター(守口市八雲北町TEL.06-6993-0765)
●国土交通省淀川河川事務所(枚方市新町2)
●国土交通省近畿地方整備局(大阪合同庁舎第1号館／大阪市中央区大手前)
大阪府下情報プラザ、ドーンセンター、総合生涯学習センター、大阪府立文化情報センター、大阪府立中央図書館、大阪府立中之島図書館、大阪府立体育会館、大阪府立文化情報センター、

よしぶえは 淀川河川公園ホームページ でもご覧いただけます。 <http://www2.kasen.or.jp/>

淀川河川公園

検索

問い合わせ／淀川河川公園 守口サービスセンター 〒570-0096 守口市外島町4-18 TEL.06-6994-0006

2011.1

昨年秋、こんなイベントがありました

第16回淀川河川公園リレーマラソン 祝優勝「池田ランナースハイ」のぞみ



森野軍団

池田ランナースハイのぞみ

森ボーテ48

チームでフルマラソンを走る淀川河川公園リレーマラソンが、絶好のマラソン日和となった昨年11月21日、より便利に快適にと今年から枚方地区(枚方市)に舞台を移し開催されました。また、本大会には昨年来上回る242チーム・1822名がエントリー。レースは前半からトップ数組が順位をキープ。レコードは2時間10分7秒に書き替えられました。

大阪市中央体育館、大阪市立城北市民学習センター、大阪市立弁天町市民学習センター、大阪市立阿倍野市民学習センター、大阪市立難波市民学習センター、鶴見区民センター、大阪市城東区役所、クレオ大阪北、淀川区役所、吹田市文化会館、吹田市民会館、豊中市市民会館、箕面市中央生涯学習センター、大東市市民会館、守口市市民会館、守口市中央公民館、寝屋川市民会館、寝屋川の自然を学ぶ会、高槻市立生涯学習センター、枚方市市民会館、枚方市立サンプラザ市民センター、門真市立図書館、門真市立文化会館、摂津市市民文化ホール、茨木市市民会館、島本町ふれあいセンター、大山崎町立中央公民館、八幡市文化センター、(財)尼崎市総合文化センター、松下記念病院、アイン薬局、祥風苑美人湯、スーパー銭湯摂津の湯、東香里湯元水春、極楽湯枚方店

バードウォッチ in 鳥いっぱいの淀川



シロハラ

マガモ

ツグミ

ヒドリガモ

コガモ

タイサギ

アオサギ

探鳥コース

9時30分
京阪枚方市駅
中央口
1Fコンコース
集合

現地集合場所

枚方地区

主催／淀川河川事務所

第92回淀川の自然を楽しむ会 河原の野鳥観察 2/27(日)

水辺でえさを探す水鳥たち…冬の淀川にはたくさんの鳥たちが集まります。それは淀川に草原、木立など、さまざまな鳥を呼ぶ環境が混在しているからです。冬の1日、静かな河畔で鳥の声に耳を傾けませんか。枚方地区から自然あふれる牧野方面へ専門家といっしょに探鳥散策に出かけます。防寒対策万端の上、ぜひお越し下さい。雨天決行

スケジュール

10時 枚方地区最上流部(上記地図の現地集合場所)にて開会。要領説明後、10時30分より探鳥開始。12時昼食(各自持参ください)。12時30分探鳥再開。14時30分鳥あわせの後、15時閉会(定員予定80名)

事前申込みが必要です

はがきに住所、氏名、電話番号(同伴者とも)を明記の上、507-0096 守口市外島町4-18 淀川河川公園 守口サービスセンター「第92回淀川の自然を楽しむ会係」まで。また電話(06-6994-0006)でもお申込みいただけます。締め切り2月18日(金)。



秋もきれいな背割堤の桜

① スタート近くの宇治川では左右の緑が迫る

② 宇治川・木津川合流点

③ 淀川の始まりには瀬が待ち構えていた

堤の桜並木も紅く染まった11月28日、Eボートによる体験乗船会が開催されました。コースは背割堤地区(八幡市)の宇治川から、三川合流を経て、枚方地区(枚方市)までの約10km。天気の大きな崩れもなく、流量も安定していたこともあり、約2時間の快適な川下りを楽しみました。今回は午前午後の2回、各2艇に合計25名の方に参加いただきました。



⑦「ちょっと速かった？」後続を待って小休止

「Eボート淀川下り体験」とは？

かつて盛んだった淀川の舟運、現代における新たな交通手段への復活をめざし、また、淀川を知り、親しんでもらうための取り組みの一つです。



④ 競争はしないけど、ときどき起こる「ニアミス」も楽しい

Eボートで淀川を下ってきました！

川下りのようすをご案内します

最初に参加者の皆さんには、インストラクターからのコース案内、万一川に落ちたときの注意などがあり、早速ライフジャケットを着用。パドルのレクチャーを済ませたら、さあ出発！川下りの始まりです。

スタート地点となる宇治川は、木津川・桂川に比べ流量も豊富で、河岸林に挟まれていて風の影響も少なく、軽く漕げば楽に進む快適な滑り出しでした。①④

宇治川はまず木津川と合流します。木津川上流からの土砂が大きな州を作っていました。② さらに少し進むと桂川とも合流。ここで波立つ瀬を越えました。地形の影響で水深は浅く、速い流れにボートは底をこづかれるように押し出されていきました。③ 川幅は一段と広がり、ここから淀川が始まります。

左手に近年整備された樟葉ワンドを見ながら進むと、右に鵜殿ヨシ原と大きな砂州が現れます。流れはだんだんと緩やかになってきます。⑤ やや向かい風が出てきました。

左に牧野ワンドを見たあと、⑥ 右に近年施工された水制工※が見えてきます。ここでは舟運にむけた調査が行われてい

ます。その向かいに位置する砂の地面は、⑦ 幾たの大雨で土砂が堆積し、陸化したかつての水制工です。

その後も、川幅は広がり、流れはさらに穏やかに。遠く向かう先に枚方地区の芝生が見えたら、あとは全力で漕ぐだけです。ただし、この水域はパドルが底に触れるほど川の中央部の水位が浅いエリア。時に座礁もあり、コースを岸近くにとるなどインストラクターの腕の見せ所でした。⑧

天の川合流部にかかり、枚方地区のとんがり帽子の塔・水位観測所が見えたらゴールはすぐそこ、最後の一漕ぎに力が入りました。自然と向き合い、水と緑に抱かれて過ごした約2時間から得られる到着時の達成感は、体験者でなければ知り得ない快感となりました。

※水制工…河岸から川の中央に向かって出される突起物。水勢を弱めたり、土砂を堆積させて護岸を強める働きがあり、いくつも連ねることで流路の安定が保てます。明治時代、蒸気船(外輪船)導入が決まった頃、淀川は土砂の堆積が著しく、平均水深は40cm程度でした。そこで必要な水深150cmを確保するため、水制工が行われました。後に水制工の周辺には土砂が堆積し、「ワンド群」が形成されていきました。



約2時間のボート旅。みなさんお疲れ様でした



⑤ 向こうは広大な鵜殿ヨシ原

⑧ 流れの中央が浅くなっている

⑥ 手前は牧野ワンド

参加者のみなさんからの感想をいただきました

「守口地区近くに住んでおり、淀川は身近な存在です。日頃は犬の散歩で公園を利用しています。よしぶえを見て『これはぜひ乗りたい！』と申し込みました。川沿いの景色がよく見えて、今どの辺にいるのかがよく分かりました。川もきれいで、これからもこのままだいいいと思いました。…アンケートの『今後の参加希望』の欄は三重マルです」

「新聞を見て応募しました。楽しそうだし、一緒に来た友人がハイキングが好きで、喜ぶと思って。ボートは初めてでしたが、楽しかったです。ずっと漕いでたんですけど、なかなか進まなくて〜(笑)。腕がちょっと〜でも大丈夫です！(笑)。淀川は水辺まで降りていけそうな自然の川岸が多いことが発見でした。淀川にふれたのは西中島地区でバーベキューをした程度。舟運のお話がありましたが、いつか大阪まで舟便ができれば楽しそうですね」

「『楽しそう』と友達に応募しました。Eボート…正直しんどかったです(笑)。もつと流れて下れると…でも楽しかったです。川のことも教えてもらってよかった。川に親しんでもらうという主旨…今の人は川と疎遠ですもんね。川って危ないって言われてるじゃないですか。子どもの頃、京田辺で木津川に飛び込んだりしてましたけど、今はないですね。どんどん川から遠ざかってる気がするんで、これからの小中学生に体験させてあげればいいと思います。若くて体力があるんだから川を逆上らせて、『昔の人はこうして物を運んだんだ』とかね(笑)！」

ありがとうございました

今後もEボート体験を開催の予定！

現在実施日程は未定ですが、春を待ち、開催の予定です。詳しくは、本紙「よしぶえ」あるいは淀川河川公園のホームページをご覧ください。

<http://www2.kasen.or.jp/>



(写真はイメージです)